

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債権は、購入時の取得価額によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定率法による。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,002,900,000	200,000,000	200,000,000	1,002,900,000
小計	1,002,900,000	200,000,000	200,000,000	1,002,900,000
特定資産				
褒賞・助成金引当資産	3,000,000		3,000,000	0
25周年記念事業積立資産	8,169,290	4,290,852	1,149,607	11,310,535
公益事業積立資産	35,143,259	3,173,075	353,933	37,962,401
小計	46,312,549	7,463,927	4,503,540	49,272,936
合計	1,049,212,549	207,463,927	204,503,540	1,052,172,936

3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	1,002,900,000	(1,002,900,000)	(0)	—
小計	1,002,900,000	(1,002,900,000)	(0)	—
特定資産				
褒賞・助成金引当資産	0	(0)	(0)	—
25周年記念事業積立資産	11,310,535	(0)	(11,310,535)	—
公益事業積立資産	37,962,401	(37,962,401)	(0)	—
小計	49,272,936	(37,962,401)	(11,310,535)	—
合計	1,052,172,936	(1,040,862,401)	(11,310,535)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	468,405	468,402	3
合計	468,405	468,402	3

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益	備考
オーストリア労働金庫	500,000,000	507,600,000	7,600,000	100円当り101.52円
ムラヨ-ロッパファイナンス エヌブイ No.42655	200,000,000	161,460,000	△ 38,540,000	100円当り80.73円
ムラヨ-ロッパファイナンス エヌブイ No.42664	100,000,000	83,470,000	△ 16,530,000	100円当り83.47円
三菱UFJ証券ホールティ ングス PRD債	100,000,000	98,489,000	△ 1,511,000	100円当り98.49円
サ-ゴールドマン・サックス・ グループ・インク PRD債	100,000,000	91,403,000	△ 8,597,000	100円当り91.40円
合計	1,000,000,000	942,422,000	△ 57,578,000	

※ 満期まで保有の場合、為替リスクは発生しない。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	24,501,534
基本財産受取配当金	2,900,000
合計	27,401,534